

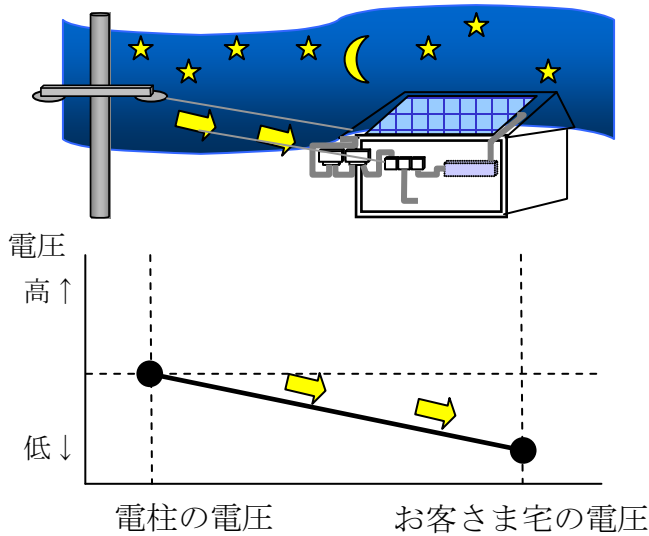
太陽光発電設備の「電圧上昇抑制機能（自動電圧調整装置）」について

お客さまが設置される太陽光発電設備は、発電した電気が当社配電設備に流れ込むよう当社の供給する電圧よりも高い電圧で発電します。その高い電圧が流れ込むことにより、お客さま宅内の電圧が上昇するとともに、配電線を経由して周辺のお客さまの宅内の電圧も上昇いたします。このため、太陽光発電設備には、周辺のお客さまの電圧が高くなり過ぎないように一時的に発電出力を抑える電圧上昇抑制機能（自動電圧調整装置）という安全装置が組み込まれています。（注：詳しくは次頁をご覧ください。）

電圧上昇抑制機能は、太陽光発電の発電量やお客さまの電気のご使用状況、当社の供給する電圧の状況によっては、一時的に作動し発電出力を抑える（発電電力量が減少する）場合がございますが、電圧を適正な範囲に維持し安全に電気をご使用いただくために必要な動作であり発電設備等の異常ではございません。なお、電圧上昇抑制機能は、電圧が適正な範囲内に戻ると自動的に解除され通常の発電状態に戻ります。

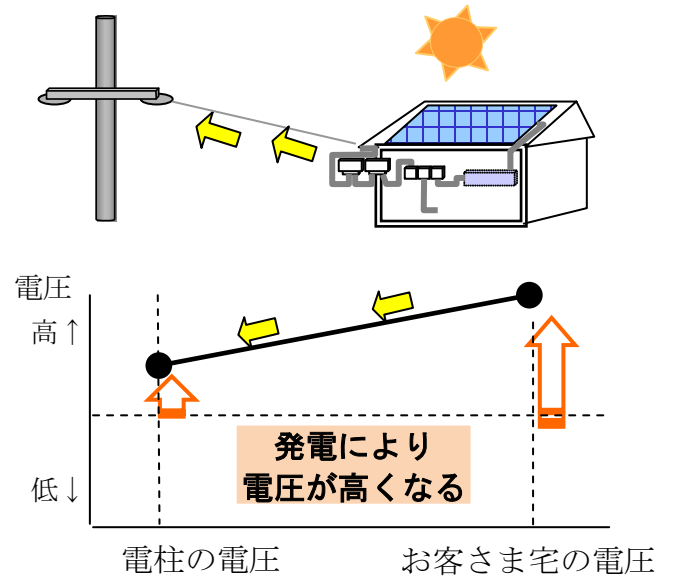
万が一、長期にわたり発電出力の抑制が発生する場合には、発電設備をご購入された販売店・メーカーにご相談頂くか、お近くの中部電力の営業所までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

○中部電力から電気を購入する場合の電気の流れと電圧の関係



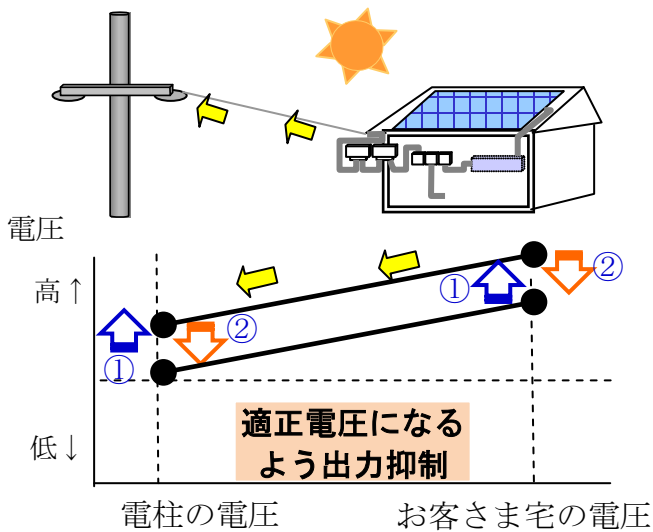
・水の流と同じように、電気は電圧が高いところ（電柱側）から低いところ（お客さま宅側）へ流れます。
 夜間など、中部電力から電気を購入する場合には、電柱側（中部電力）の電圧よりお客さま宅側の電圧が低くなります。

○中部電力へ電気を販売する場合の電気の流れと電圧の関係



・太陽光で発電した電気を中部電力へ販売する場合には、電気は電圧が高いところ（お客さま宅側）から電圧が低いところ（電柱側）へ流れるため、お客さま宅内の電圧が高くなります。また、電柱の電圧も高くなるため、周辺のお客さまの電圧も高くなります。

○電圧上昇抑制機能（自動電圧調整装置）について



- ①太陽光の発電により、お客さま宅内、周辺のお客さま（電柱側）の電圧が高くなります。
- ②電圧上昇抑制機能（自動電圧調整装置）により、適正な電圧になるよう自動的に発電出力を抑制します。（電圧が適正な範囲内に戻ると自動的に解除され、通常の状態に戻ります）。

※ 長期にわたり発電出力の抑制が発生する場合などで、電圧上昇抑制機能（自動電圧調整装置）の動作の原因を調査した結果、発電出力抑制の事象の緩和など、お客さまが当社の供給設備の変更を希望される場合は、それにかかる工事費の全額をお客さまにご負担いただくことがあります。